

JIS

ポリエステル縫糸

JIS L 2511 : 2000

(2005 確認)

平成 18 年 7 月 20 日付け追補 1 あり

平成 12 年 2 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS L 2511 : 1994は改正され、この規格に置き換えられる。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 43.10.1 改正：平成 12.2.20

官 報 公 示：平成 12.2.21

原案作成協力者：日本縫糸工業協会，財団法人燃糸・縫糸検査協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 消費生活部会 (部会長 小見山 二郎)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部標準業務課 環境生活標準化推進室 (☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

ポリエステル縫糸

L 2511 : 2000

Polyester sewing thread

序文 この規格は、ポリエステル縫糸について規定したもので、1968年(昭和43年)に制定された。今回の改正では、引用規格の廃止及び改正に伴い、引用規格の規格名称、項目番号及び関係する規定内容を変更している。

1. 適用範囲 この規格は、ポリエステル縫糸について規定する。

備考 この規格の中で{ }を付けて示してある単位及び数値は、従来単位によるもので、参考として併記したものである。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

JIS L 0104 テックス方式による糸の表示

JIS L 0105 繊維製品の物理試験方法通則

JIS L 0803 染色堅ろう度試験用添付白布

JIS L 0842 紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 0844 洗濯に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 0849 摩擦に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 1013 化学繊維フィラメント糸試験方法

JIS L 1030-2 繊維製品の混用率試験方法—第2部：繊維混用率

JIS L 1095 一般紡績糸試験方法

JIS Z 8401 数値の丸め方

3. 種類 ポリエステル縫糸の種類は、次のとおりとする。ただし、括弧内は、種類の略号である。

a) ポリエステルミシン糸

1) ポリエステルフィラメントミシン糸(ミシン糸)

2) ポリエステルフィラメント伸縮加工ミシン糸(ウーリーミシン糸)

3) ポリエステル紡績糸ミシン糸(スパンミシン糸)

4) 綿混紡ポリエステルミシン糸(綿混紡ミシン糸)

b) ポリエステル手縫糸

1) ポリエステルフィラメント手縫糸(手縫糸)

2) ポリエステル紡績糸手縫糸(スパン手縫糸)

c) ポリエステル製袋用縫糸

1) ポリエステル紡績糸製袋用縫糸(スパン製袋用)

2) 綿混紡ポリエステル製袋用縫糸(綿混紡製袋用)

4. 品質